

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月30日

上場会社名 株式会社 赤阪鐵工所  
 コード番号 6022 URL <http://www.akasaka-diesel.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 赤阪 全七  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務・営業担当 (氏名) 木村 充宏  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 054-685-6081

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	7,121	△21.2	571	△42.2	552	△45.5	325	△48.1
21年3月期第2四半期	9,034	—	987	—	1,013	—	627	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	21.26	—
21年3月期第2四半期	40.95	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	18,270	7,867	43.1	513.93
21年3月期	17,465	7,605	43.5	496.79

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 7,867百万円 21年3月期 7,605百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	7.00	7.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	△20.3	750	△55.9	700	△60.0	400	△59.0	26.13

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 15,400,000株 21年3月期 15,400,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 91,132株 21年3月期 90,479株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第2四半期 15,309,194株 21年3月期第2四半期 15,314,020株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想につきましては、平成21年7月31日に公表しました内容から変更しております。詳細につきましては平成21年10月23日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

昨春秋以降、世界経済の急激な後退から国内経済も輸出が減少し、景気は大幅に悪化いたしました。ここにきて景気は持ち直しに転じつつあるとの観測もあるものの、企業の厳しい収益環境等を背景に設備投資は減少を続け、一方、個人消費は雇用・所得環境が厳しさを増す中で低迷し、また、円高の進行により厳しい経済環境が続く状況にあります。

このような状況の中、当第2四半期の海運業界は荷動きの減少、それに伴う運賃の下落により厳しい経営環境を強いられております。また、造船業界は前年度までの高水準な受注残高を背景に新造船の生産は確保されたものの、新規建造案件は大幅に減少しており、今後、厳しい経営環境が予想されます。

当社におきましても、当第2四半期の売上高は7,121百万円（前年同期比21.2%減）となり、利益面においても経常利益は552百万円（前年同期比45.5%減）と減収減益となりました。しかしながら収益性の高い部分品及び修理工事の売上は目標を上回り、材料価格も一部例外はありますが落ち着きを取り戻したことで、また厳しい状況が予想される中でコスト削減に努めたことなどから、予定した業績を上回ることができました。

※ 当社は平成20年10月1日に連結子会社であった(株)タイクウを吸収合併したため、前第2四半期までは連結財務諸表のみを開示しております。従いまして、1ページ【1. 平成22年3月期第2四半期の業績（1）経営成績（累計）】の「21年3月期第2四半期」は当時の個別財務諸表の値を記載しておりますが、吸収合併後の個別財務諸表と直接比較するのは適当でないと考えられるところから、より比較に適した連結損益計算書を「参考資料」として記載しておりますのでご参照ください。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は18,270百万円となり、前事業年度末に比べ805百万円増加いたしました。主な要因は、仕掛品の減少などにより流動資産は69百万円減少しましたが、新工場建設や新鋭工作機械導入により建物（375百万円）、機械及び装置（689百万円）が増加したためです。

当第2四半期末の負債合計は10,403百万円となり、前事業年度末に比べ543百万円増加いたしました。仕事量の減少により支払手形及び買掛金（1,031百万円）が減少しましたが、契約のタイミングにより前受金（278百万円）が増加し、設備関係の未払金（505百万円）や、その支払のための社債の発行（457百万円）、長期借入金（421百万円）が増加したためです。

当第2四半期末の純資産の部は7,867百万円となり、前事業年度末に比べ261百万円増加いたしました。主な要因は、当四半期純利益（325百万円）の計上、配当金の支払（107百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（43百万円）等によるものです。この結果、当第2四半期末における自己資本比率は43.1%となりました。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年10月23日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

##### ② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の算定に関しては、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益（累計期間）に当該見積実行税率を乗じて計算する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,841,075	3,325,778
受取手形及び売掛金	4,423,257	4,871,332
製品	256,000	—
仕掛品	3,157,496	3,543,624
原材料及び貯蔵品	587,567	611,057
その他	230,479	219,620
貸倒引当金	△20,022	△25,929
流動資産合計	12,475,854	12,545,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,070,150	1,651,932
その他(純額)	2,609,259	2,194,863
有形固定資産合計	4,679,410	3,846,796
無形固定資産	36,573	45,302
投資その他の資産		
その他	1,136,461	1,082,521
貸倒引当金	△57,434	△54,467
投資その他の資産合計	1,079,026	1,028,054
固定資産合計	5,795,010	4,920,153
資産合計	18,270,864	17,465,637
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,198,662	4,230,356
短期借入金	1,393,620	1,417,360
未払法人税等	220,619	268,833
引当金	319,986	320,092
その他	2,526,721	1,765,336
流動負債合計	7,659,608	8,001,977
固定負債		
社債	677,400	219,600
長期借入金	1,423,878	1,001,978
退職給付引当金	274,235	303,506
役員退職慰労引当金	134,828	128,203
その他	233,238	204,692
固定負債合計	2,743,581	1,857,979
負債合計	10,403,189	9,859,957

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,510,000	1,510,000
資本剰余金	926,345	926,345
利益剰余金	5,303,495	5,085,361
自己株式	△30,812	△30,861
株主資本合計	7,709,029	7,490,845
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	158,645	114,834
評価・換算差額等合計	158,645	114,834
純資産合計	7,867,674	7,605,679
負債純資産合計	18,270,864	17,465,637

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	7,121,445
売上原価	5,700,858
売上総利益	1,420,586
販売費及び一般管理費	849,301
営業利益	571,285
営業外収益	
受取利息	2,339
受取配当金	10,683
スクラップ売却益	9,405
助成金収入	8,314
その他	4,374
営業外収益合計	35,116
営業外費用	
支払利息	29,684
社債発行費	18,789
その他	5,166
営業外費用合計	53,641
経常利益	552,760
特別利益	
貸倒引当金戻入額	256
特別利益合計	256
特別損失	
投資有価証券評価損	7,838
ゴルフ会員権評価損	7,170
その他	264
特別損失合計	15,273
税引前四半期純利益	537,744
法人税等合計	212,247
四半期純利益	325,497

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	537,744
減価償却費	269,152
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,939
受取利息及び受取配当金	△13,022
支払利息及び手形売却損	33,069
固定資産除却損	264
投資有価証券評価損益 (△は益)	7,838
売上債権の増減額 (△は増加)	75,501
割引手形の増減額 (△は減少)	372,573
たな卸資産の増減額 (△は増加)	153,616
その他の資産の増減額 (△は増加)	△14,825
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,031,694
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△26,248
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△22,751
その他の負債の増減額 (△は減少)	783,036
小計	1,121,316
利息及び配当金の受取額	13,311
利息の支払額	△29,511
法人税等の支払額	△259,903
営業活動によるキャッシュ・フロー	845,213
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△83,000
定期預金の払戻による収入	338,000
有形固定資産の取得による支出	△1,049,147
無形固定資産の取得による支出	△700
投資有価証券の取得による支出	△1,842
貸付けによる支出	△14,769
貸付金の回収による収入	6,553
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	21,017
投資活動によるキャッシュ・フロー	△783,888
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入れによる収入	600,000
長期借入金の返済による支出	△201,840
社債の発行による収入	500,000
社債の償還による支出	△82,200
自己株式の純増減額 (△は増加)	△146
配当金の支払額	△106,840
財務活動によるキャッシュ・フロー	708,972
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	770,297
現金及び現金同等物の期首残高	2,538,778
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,309,075

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

前年同四半期にかかる連結財務諸表

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
I 売上高	9,090,242
II 売上原価	7,049,511
売上総利益	2,040,730
III 販売費及び一般管理費	1,036,180
営業利益	1,004,550
IV 営業外収益	72,901
V 営業外費用	45,101
経常利益	1,032,349
VI 特別利益	31,377
VII 特別損失	91,797
税金等調整前四半期純利益	971,929
法人税等	387,172
四半期純利益	584,757

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	481,018
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△123,718
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△351,172
IV 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,128
V 現金及び現金同等物の期首残高	2,289,786
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,295,914

## 6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第2四半期会計期間の生産実績を事業のセグメント別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
内燃機関関連事業 (千円)	3,591,298
その他の事業 (千円)	212,944
合計 (千円)	3,804,242

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注状況

当第2四半期会計期間における受注状況を事業のセグメント別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
内燃機関関連事業	1,966,306	13,597,981
その他の事業	212,944	—
合計	2,179,250	13,597,981

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第2四半期会計期間の販売実績を事業のセグメント別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
内燃機関関連事業 (千円)	3,478,298
その他の事業 (千円)	212,944
合計 (千円)	3,691,242

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。